平成２０年４月１６日

各　位

会社名　　住友重機械工業株式会社
代表者名　　代表取締役社長　中村吉伸
コード番号　６３０２
問合せ先　　ＩＲ広報室長　大島秀夫
TEL 03-6737-2333

米国の半導体製造装置メーカー、アクセリス・テクノロジーズ社に対する買収提案に関するお知らせ

住友重機械工業株式会社は、４月１４日付でアクセリス・テクノロジーズ社（以下「アクセリス」といいます）が米国で行ったプレスリリースおよびファイリングにおける主張に対して、アクセリスが当社との交渉に誠意を持って臨むよう改めて要求します。アクセリスは、プレスリリースの中で２００８年度第１四半期（１－３月）の同社の利益見通しを約６００万ドル下方修正しました。また、同社は株主宛のレターをファイリングしており、その中で、現在は市況が低迷しているが同社の製品開発は順調に進み、いずれマーケットも回復するので、現時点で住重の提案を受け入れることは株主のためにならない、と主張しています。

当社は、アクセリス買収に対するスタンスを変えておらず、同社の業績悪化に関するプレスリリースによって、むしろ速やかにこの買収を完了させる必要性がより明確になったと考えています。アクセリスはそのプレスリリースの中で、当社と買収に関して協議する意思を示しているかのように述べていますが、実際のところ、同社の取締役会は以下に述べるような理由により当社と誠実な協議を行うつもりがないと当社では判断しています。

アクセリスは２００６年以降、当社による数度にわたるアクセリスの買収提案に対し拒否を繰り返してきました。アクセリスの取締役会は、買収のための実質的な協議を行う前提として、当社が、アクセリスとの交渉の状況に関する情報開示および株主との対話を中止することなどに合意するよう主張し、実質的な買収協議を拒否してきました。一方、当社はアクセリスとの合弁会社であるＳＥＮを売却する意向がないことを繰り返し明言しているにもかかわらず、アクセリスの取締役会は当社が保有するＳＥＮの持分を取得したいという非現実的な希望に固執しています。これは、アクセリスとの買収交渉を阻害するものであり、現金によるプレミアム付き買収を望む同社の株主の利益を損なうものであると当社は考えています。当社は、アクセリスの取締役会がこれらの主張を撤回し、会社の売却について真摯に交渉を行うという誠実な意思を示せば、合理的な条件のもとで秘密保持契約を結び買収交渉に入りたいと考えています。

当社と、少数持分の出資予定であるＴＰＧとは、アクセリスを買収する意思に何ら変わりはありません。そのため、両社が納得の行く最終契約の締結を急ぎ、株主にただちに利益をもたらすようにしたいと考えています。
アクセリスの株主は、アクセリスの長期に渡る業績不振および当社の提案を協議しようとしない頑なな姿勢よりも、確実で即座に価値をもたらす当社のプレミアム付現金買収提案を支持するものと当社は確信しています。当社は株主がアクセリスの取締役会に自分の考え方を知らしめることを期待します。

当社とＴＰＧの一株あたり$6.00 の提案は、当社とＴＰＧが最初の提案を行った前日（2008 年 2 月 8 日）の終値の$4.04 に 48.5%のプレミアムを乗せた価格です。この提案は、半導体製造装置業界における同様な取引でのプレミアムを超過しており、またファイナンスの制約を受けるものではありません。

以　上